

平成27年度 事業報告書

自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日

一般財団法人日本ボクシングコミッション

1 業務管理について

(1) JBCルールブックの改正

平成 27 年 12 月 22 日開催の理事会にて承認され、平成 28 年 1 月 1 日より施行する。

(2) JBC職員の各種規則・規定の改定、整備

①就業規則、給与規定、退職金規定、出張規定を改正施行した。

(平成 27 年 5 月 25 日改正施行)

②休暇規定、慶弔見舞金規定、再雇用職員の就業に関する規定、賞罰規定を施行した。

(平成 27 年 5 月 25 日施行)

③職務権限規定を施行した。

(平成 27 年 6 月 1 日施行)

④コンプライアンス行動規範を制定した。

(平成 27 年 6 月 16 日施行)

⑤スピークアップ制度を設立した。

(平成 27 年 6 月 15 日設立)

⑥人事管理規定を施行した。

(平成 27 年 10 月 7 日施行)

(3) 業務管理の適正化を推進

①人事、総務各種届書を作成・運営を開始した。

②経理業務にて仮払金申請書を作成・運営を開始した。

(4) 査定制度の導入

①賞与査定を実施した。

②人事管理規定制定に伴い、業務内容表を作成し、平成 28 年度より運営を開始する。

2 試合管理に関して

(1) 世界(男子 19/女子 14)、東洋太平洋(男子 21/女子 4)、日本(32)のタイトルマッチ及びその他合計 211 興行の試合管理を行った。

●内訳

地区	2015	2014	差
東京	112	111	1
中部	18	20	-2
関西	60	61	-1
西部	21	20	1
合計	211	212	-1

(2) 選手、マネージャー、他ボクシング従事者に対する資格審査並びにライセンス

を発給した。ライセンスの発行総数は、4,228名（内：外国人ボクサー195名）

●内訳

種別	2015	2014	差
ボクサー	2,271	2,340	-69
男子	2,158	2,225	-67
女子	113	115	-2
プロモーター	74	81	-7
クラブオーナー	273	271	2
マネージャー	406	377	29
トレーナー	582	573	9
セコンド	388	376	12
マッチメーカー	2	5	-3
レフェリー	114	105	9
タイムキーパー	13	12	1
アナウンサー	9	9	0
ドクター	91	68	23
進行	5	10	-5
合計	4,228	4,227	1

(3) プロボクサー新人テストを実施した。

●受験者数

地区	2015	2014	差
東京	315	352	-37
中部	55	62	-7
関西	172	136	36
西部	78	85	-7
合計	620	635	-15

(4) 日本ランキングを決定し、発表した。

ランキング委員会を開催した。（月例）

●メンバーは、専門誌記者、一般紙・スポーツ紙記者、ボクシングアナリスト、JPBA、JBC

(5) 試合役員研修会を実施した。

東京地区10回、中部地区2回、関西地区3回、西部地区2回実施し、内容は採点基準、レフェリング（反則処置）、事故防止等についてであった。

3 安全防護に関して

- (1) JBC・JPBA合同医事講習会を開催した。
(平成 27 年 6 月 23 日、後楽園ホール 5 F 展示会場)

①講師

島田宏之医師 日本大学病院アイセンター教授

『ボクシングにおける眼外傷』

大村佳大コミッションドクター 東京女子医科大学病院脳神経外科

『菊地健太選手のリング事故報告』

小石川消防署

『救急・応急手当指導』 (AED 講習)

②参加者

119 名

③内容

リング事故の代表的症例である「急性硬膜下血腫」について、および網膜剥離の発生過程や眼球の仕組みなど、画像を使用して丁寧な解説を行った。また、今回は小石川消防署員による救急・応急処置の指導として AED の使用方法の講習を行い、具体的な対処法が説明された。

- (2) リング事故 (急性硬膜下血腫受傷)

菊地健太 (金子) が 5 月 29 日後楽園ホールにおいて、林周 (レパード玉熊) との 4 回戦で判定負け後、急性硬膜下血腫及び軽度の脳挫傷にて緊急入院した。

3 国際交流について

OPBF (東洋太平洋ボクシング連盟) 第 53 回年次総会に参加した。

(平成 28 年 6 月 11 日～13 日、フィリピン)

①各種報告

②フリーディスカッション

③ JBC 参加者：浦谷信彰、福地勇治、富樫光明

4 ボクシング功労者の表彰について

2014 年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式を開催した。

(1) 日時

平成 27 年 1 月 23 日

(2) 場所

東京ドームホテル

(3) 表彰選考会

平成 27 年 1 月 6 日実施

(4) 表彰選手

①プロの部 8 部門 (8 名)

②アマの部 6 部門 (8 名)

(5) 各種チャンピオンの引退

- 元OPBF & 日本ミドル級チャンピオン 鈴木哲也 (六島)
- 元日本バンタム級チャンピオン 大場浩平 (真正)
- 元日本フェザー級チャンピオン 梅津宏治 (ワタナベ)

(6) 世界王者獲得

- WBA世界フライ級チャンピオン 井岡一翔 (井岡)
- WBO世界ミニマム級チャンピオン 田中恒成 (畑中)
- WBC世界ライト・フライ級チャンピオン 木村 悠 (帝拳)
- IBF世界ライト・フライ級チャンピオン 八重樫東 (大橋)
- IBF女子世界ミニ・フライ級チャンピオン 多田悦子 (真正)

5 広報普及活動について

- (1) ボクシング広報誌を発刊した。
毎月発刊
- (2) ボクシング年鑑を発刊した。
平成 27 年 4 月 1 日
- (3) ホームページの活用
最新情報を掲載した。
- (4) U-15 ボクシング全国大会の開催に協力した。
 - ①日時
平成 27 年 9 月 6 日
 - ②場所
東京・後樂園ホール
 - ③参加者
107 名

6 記録、資料について

選手記録(戦績、診断の記録カード)、ボクシングに関する資料の収集、作成並びに保存を継続的に行った。

7. その他

- (1) 理事会を 3 回開催した。
 - ①平成 27 年 2 月 24 日
 - ②平成 27 年 10 月 6 日
 - ③平成 27 年 12 月 22 日
- (2) 評議員会を 2 回開催した。
 - ①平成 27 年 2 月 24 日
 - ②平成 27 年 10 月 6 日
- (3) 物故者

平成 27 年度にご逝去されたボクシング関係者は 2 名であった。

●糸川俊夫氏（角海老宝石ジムマネージャー）2 月 17 日ご逝去（76 歳）

●桑田和昌氏（JBC 西部レフェリー）5 月 13 日ご逝去（77 歳）

（4）アマチュアとの関係について

2014 年度プロ・アマ年間優秀選手表彰式にて、日本ボクシング連盟の協力を頂いた。

（5）処分関係

平成 27 年度は 12 案件、のべ 20 人を処分した。内容は以下の通りである。

①鈴木英樹（横浜光：ボクサー）の件

平成 27 年 1 月 17 日の試合前日計量において 1.0kg 体重超過し計量失格となった。

●鈴木英樹を嚴重注意処分。

●石井一太郎（クラブオーナー・マネージャー）を嚴重注意処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 27 年 1 月 19 日付け）

②石川裕介（輪島功一：ボクサー）の件

平成 27 年 4 月 7 日の試合前日計量において体重超過し計量失格となり、試合もキャンセルとなった。

●石川裕介を嚴重注意処分。

●輪島功一（クラブオーナー・マネージャー）を嚴重注意処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 27 年 4 月 8 日付け）

③柴田貴之（竹原&畑山ジム：マネージャー）の件

平成 27 年 4 月 22 日の試合の際、再三の注意を受けながら 4 人目のセコンドとして活動した。

●柴田貴之を嚴重注意処分。

●竹原慎二（クラブオーナー・マネージャー）を嚴重注意処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 27 年 4 月 23 日付け）

④村中優（フラッシュ赤羽：ボクサー）の件

平成 27 年 4 月 7 日の試合前日計量において 1.2kg 体重超過し計量失格となり、日本チャンピオンを剥奪された。

●村中優を平成 27 年 4 月 7 日よりライセンス 6 ヶ月停止処分。

●川島勝（フラッシュ赤羽：クラブオーナー）を戒告処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 27 年 4 月 28 日付け）

⑤渡部あきのり（野口：ボクサー）の件

平成 27 年 7 月 30 日、試合前日計量において 3.2kg 体重超過し計量失格と

なった。

●渡部あきのりを厳重注意処分

●野口勝（野口：クラブオーナー）を厳重注意処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 27 年 7 月 30 日付け）

⑥丸木和也（天熊丸木：ボクサー）の件

平成 27 年 8 月 2 日の試合前日計量において 2.8kg 体重超過し計量失格となった。

●丸木和也を厳重注意処分

●丸木孝雄（天熊丸木：クラブオーナー）を厳重注意処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 27 年 8 月 3 日付け）

⑦鈴木真吾（角海老宝石：クラブオーナー）の件

平成 27 年 9 月 30 日の日本ウエルター級タイトルマッチの試合プロモートを JBC の許可なく発表した。

●鈴木真吾を厳重注意処分

（平成 27 年 8 月 3 日付け）

⑧桃井悟（トヤマ：クラブオーナー）の件

平成 27 年 9 月 6 日の興行でパナマ人ボクサー、ワルテル・テジョの来日ビザに関し、本来興行ビザを取得させなければならないところ、短期滞在ビザで来日させ試合に出場させた。

●桃井悟を厳重注意処分

（平成 27 年 9 月 15 日付け）

⑨村中優（フラッシュ赤羽：ボクサー）の件

平成 27 年 4 月 7 日、日本フライ級タイトルマッチの前日計量において計量失格となり 6 ヶ月のライセンス停止処分となったが、ライセンス停止処分期間終了後の再起戦であるノンタイトル 10 回戦の前日計量において、再び 0.5kg 体重超過し計量失格となり、メインイベントである 10 回戦が中止となった。

●村中優を平成 27 年 10 月 1 日よりライセンス 12 ヶ月停止処分。

●川島勝（フラッシュ赤羽：クラブオーナー）を罰金処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 27 年 10 月 27 日付け）

⑩竹嶋丈（レパード玉熊：ボクサー）の件

平成 27 年 9 月 22 日の試合前日計量において、体調不良を理由に計量会場に現れず、計量失格となった。

●竹嶋丈を厳重注意処分

●玉熊幸人（レパード玉熊：クラブオーナー）を厳重注意処分。

理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。

（平成 27 年 10 月 27 日付け）

- ⑪小林隼基（角海老宝石：ボクサー） 厳重注意処分（10月27日付）
平成27年8月2日の試合前日計量において1.4kg 体重超過し計量失格となった。
- 小林隼基を厳重注意処分
 - 鈴木真吾（角海老宝石：クラブオーナー）を厳重注意処分。
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。
（平成27年10月27日付け）
- ⑫平野拳生（風間：ボクサー） 厳重注意処分（11月17日付）
平成27年11月15日の試合前日計量において計量失格となり、試合もキャンセルとなった。
- 平野拳生を厳重注意処分
 - 風間勝雄（風間：クラブオーナー）を厳重注意処分。
理由－クラブオーナーとしての管理監督責任。
（平成27年11月17日付け）

以上